特集 議会による事業評価を実施

今後の取組方　及び 翌年度予算への提言をまとめる

富士市議会では議会基本条例に基づく独自の取組として、９月定例会決算審査に合わせて前年度執行の事業の評価を行っています。今回は、全事業の中から５事業を選定し、評価においては、活発に意見交換がなされ、議論は大変白熱したものとなりました。

評価結果は、10月11日に市長に提出しました。

評価
- A：十分評価できる
- B：やや評価できる
- C：あまり評価できない
- D：全く評価できない

今後の方向性
- 1：拡充する
- 2：継続する
- 3：改善し継続
- 4：大幅な見直し
- 5：縮小・廃止を検討

評価対象事業・内容	評価	評価に至った理由	今後の方向性	今後の取組方・翌年度予算への提言
林業振興事業費（富士ヒノキ製ベンチＰＲ事業） 富士ヒノキのブランド製品「フジヒノキメイド」の知名度向上を図り、販路拡大につなげる。 **森林経営管理事業費** 森林環境譲与税を活用し、森林の適切な整備につながる取組を進める。	B	市内の森林の多くが主伐期を迎え、林業振興や森林経営が重要な課題となっている中、森林経営管理制度を効果的に活用し、令和２年度・令和３年度における私有林の整備面積の合計が全国第１位となったことは評価できる。その一方で、「富士山ベンチ」の首都圏などへの寄贈は、富士ヒノキの知名度向上や販路拡大等につながっているとは言い難い。	3	令和６年度から森林環境税の賦課徴収が開始されることから、林業の人材育成・担い手確保、普及啓発、木材利用の促進に資する事業をより一層強化することを求める。また、富士ヒノキ製ベンチＰＲ事業は見直しを求めるとともに、東京23区の森林環境譲与税を活用し、市有林内へ区民の森を誘致する活動は、早期の実現を求める。
ものづくり人材育成事業費（発明くふう展） ものづくりの大切さや創造する楽しみと科学する心を培うため、市内の産官学金の連携による富士市発明くふう展を実施し、産業振興の一助とする。	B	将来のものづくり人材を育むため、実用新案登録出願する権利の授与や、神奈川工科大学ものづくり体験バスツアーに招待するなどの努力は評価できる。一方で、全ての子供に平等な出品の機会の提供、益々重要となるデジタル技術を駆使した作品の出品機会の提供など、課題もある。	3	教員の負担に配慮するとともに、子供たちが出品しやすい環境を整えるほか、本市が進めるＳＴＥＡＭ教育に資するプログラミングやデジタルアート等、今の時代に求められるものづくり人材の育成に向け、多くの人が楽しんで出品できるような事業とすることを求める。
生け垣作り助成費 住宅敷地等に新たに生け垣を設置する経費の一部を助成し、緑による潤いのある都市景観の形成、災害防止や避難路の確保などを推進する。	C	生け垣には、目隠し、防風・防火、二酸化炭素排出量の削減などの効果があり、昭和54年度の制度施行から現在までに３万5046メートルを達成していることは評価できる。しかし、近年は申請者数が低迷しており、現在の住宅事情を考慮すると、生け垣づくりが市民ニーズに合った事業とは言い難い。	3	緑豊かで住みよく安全な都市環境及び景観づくりを推進するため、利用者アンケート結果も参考にしながら、現行の補助要件の緩和の検討を求める。また、庭木のある庭園の整備や壁面緑化への補助制度を検討するなど、生け垣だけでなく、市民ニーズに合った新たな事業展開を求める。
水道料金賦課・収納事業 水道事業の収益の根幹を成す水道料金について、正確に使用水量を把握し、適正な調定・収納等を行う。	B	調定件数が増加する中、令和２年度以降の実績では、いずれも目標収納率である97.75％を上回っていることは評価でき、事業の民間委託自体は今後も継続すべきと考える。一方で、期を追うごとに委託料が増加していることは、プロポーザルに複数の業者が参入できていないことも要因として大きいと考える。	3	次期契約に向けては、プロポーザルに複数者が参入しやすい環境整備を求める。未納者への対応については収納課と協議し、有効な手法の検討を求める。水道メーターは、業務の効率化や高齢単身世帯への見守り効果といったメリットと費用対効果を勘案し、スマートメーター導入の検討を求める。
中央病院人材活用事業 優秀な人材を確保するとともに、適正な人員配置と技術向上への支援を行い、地域の基幹病院として、質の高い医療サービスの提供に努める。	B	次世代の医療を担う人材育成のため、医師への研修、医療サービスの質の向上、特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の支援など、人材育成の取組は評価できる。一方で、時間外労働が基準値を超える医師がいるほか、看護師・助産師などに欠員が出ており、人手不足の状況が改善できていない課題がある。	1	医師の確保に当たり、人材育成センターを最大限活用し、タスクシフトに対応する人員確保や資格取得の支援を求める。また、臨床研修医の育成・指導を担う指導医の確保・育成を求める。働き続けることのできる環境の整備を進め、中央病院で働く魅力をＳＮＳ等で発信することを求める。

９月定例会

会期内容

９月11日　本会議（開会）
- ◇特別委員会の中間報告・質疑
- ◇議案１件（報告案）説明・質疑・討論・採決
- ◇議案２件（契約案）説明・質疑・討論・採決
- ◇議案19件（決算認定・単行案）説明・質疑・委員会付託
- ◇発議議案１件説明・採決

14日･15日、19日　委員会
- ◇一般・特別会計決算委員会

20日　委員会
- ◇議会運営委員会

21日･22日　委員会
- ◇企業会計決算委員会

26日　本会議
- ◇議案19件（決算認定・単行案）委員長報告・質疑・討論・採決
- ◇議案11件（補正予算案・条例案）説明・質疑・委員会付託

28日　委員会
- ◇総務市民委員会
- ◇産業教育委員会

29日　委員会
- ◇福祉保健委員会
- ◇建設消防委員会

10月３日　委員会
- ◇議会運営委員会

４日　本会議
- ◇所管事務調査の中間報告・質疑
- ◇議案11件（補正予算案・条例案）委員長報告・質疑・討論・採決
- ◇一般質問

５日・６日、10日　本会議
- ◇一般質問

11日　本会議（閉会）
- ◇一般質問

令和４年度　各会計決算を認定

【一般会計歳入歳出決算】

歳入　992億9508万　982円
歳出　948億3319万3134円

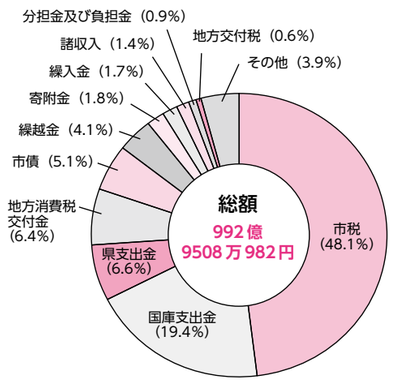
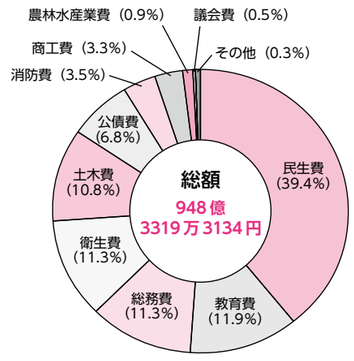
【特別会計】

歳入　538億1871万8223円
歳出　530億7320万3581円

【企業会計】

水道事業	事業収益	39億1754万6961円
	事業費用	33億8554万　708円
公共下水道事業	事業収益	61億2753万2865円
	事業費用	50億3416万5418円
病院事業	事業収益	182億4712万1158円
	事業費用	153億　42万7638円

一般会計・歳入款別内訳



一般会計・歳出款別内訳